

英語 B (English IV B)

担当教員名	福島 健治	
学科・専攻, 科目詳細	都市システム工学科 4年 後期 1単位 講義	
学科のカリキュラム表	一般科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	教養科目 外国語系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-2(20%) B-1(30%) E-2(50%)
	JABEE基準1(1)	(a)(f)
科目の概要	(1) 国際化時代に活躍する技術者として必要な英語の基礎能力を身につけるために、特に「聴く・読む」技能を涵養する。 (2) TOEICの演習問題を通して、実践的な英語運用能力の向上を目指す。 (3) 単語小テストを毎回行い、語彙力向上をはかる。 「システム英単語」小テスト範囲：1301～1581	
テキスト(参考文献)	Essential Approach for the TOEIC Test (成美堂) 大須賀直子他 システム英単語 (駿台文庫) 霜 康司他	
履修上の注意	(1) 小テストはきちんと準備して受験すること。 (2) 毎回指定された箇所の課題をやり、解くのにかった時間、振り返り(やってみて感じた自分の英語力について)を記録していくこと。 (3) 公的な理由のない遅刻や欠席による小テストの未受験は0点の扱いとする。	
科目の達成目標	・英語の聴解力・読解力の向上 TOEIC 用教材における聴解及び読解に関する演習を通して、実用的な英語運用能力の向上を図る。 ・英語の語彙力の増強 英単語の学習を通して、英語の語彙力の増強を図る。 ・現代社会に直結した題材に触れることによって、将来の技術者として必要な論理性や国際性など、広い教養を身につける。	
自己学習	自らの英語力を自ら高める努力を怠らず、予習復習に努めること。 外国語学習に王道なし(『より良い外国語学習法を求めて--外国語学習成功者の研究』)。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/4以上の欠課
	評価基準： (1) 年間2回の定期試験(70%) (2) 随時実施される課題・小テスト・平常の発表・参加態度等(30%) 評価基準： (1) 定期試験： ・文章から必要な情報を的確に読み取ることができる。 ・聞こえてきた英文を正しく書き取ることができる。 (2) 小テスト ・基礎的な語彙を覚え、正しく使いこなせる。 この配分に基づく評価点が60点以上の者を合格とする。	
連絡先	matsuda@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週	授業概要 授業の進め方・単語テスト・課題・評価等についての説明、Pre-test
第2週	Unit 1. Arts & Amusement テーマに関する聴解、読解の学習をする。
第3週	Unit 2. Lunch & Parties テーマに関する聴解、読解の学習をする。
第4週	Unit 3. Medicine & Health テーマに関する聴解、読解の学習をする。
第5週	Unit 4. Traffic & Travel テーマに関する聴解、読解の学習をする。
第6週	Unit 5. Ordering & Shipping テーマに関する聴解、読解の学習をする。
第7週	Unit 6. Factories & Production テーマに関する聴解、読解の学習をする。
第8週	中間試験 中間試験実施
第9週	中間試験返却 中間試験の返却と解説を行う。
第10週	Unit 7. Research & Development テーマに関する聴解、読解の学習をする。
第11週	Unit 8. Computers & Technology テーマに関する聴解、読解の学習をする。
第12週	Unit 9. Employment & Promotions テーマに関する聴解、読解の学習をする。
第13週	Unit 10. Advertisements & Personnel テーマに関する聴解、読解の学習をする。
第14週	Unit 11. Telephone & Messages テーマに関する聴解、読解の学習をする。
第15週	Post-test、総まとめ 自分の課題データをまとめ、分析し今後の学習課題を見つける。
期末試験	